



ERICSSON

エリクソン一般サプライヤ用労働安全衛生 (OHS)基準

基準



目次

1	はじめに	3
2	サプライヤー向け OHS 規格.....	3
3	エリクソンの OHS 運用規格.....	4
4	エリクソンの特定 OHS 規格.....	5
5	情報の変更.....	5

© Ericsson AB 2022

All rights reserved. 本文書の情報はエリクソンの所有物であり、予告なく変更されることがあります。エリクソンは、事実に関する誤りまたは誤字について、何ら責任を負うものではありません。



1 はじめに

エリクソンは、安全衛生に対するグループ全体での統括アプローチにより、全ての人に安全で健康的な作業環境を整備するようつとめています。

世界の全従業員に安全かつ健康的な職場環境を提供する事を約束し、その実現に真剣に取り組んでいます。エリクソンのサプライヤとその従業員もその対象です。

エリクソンはすべてのサプライヤーに対し、基本的人権、労働安全衛生基準、環境管理、ならびに職場の汚職防止などの分野の要件を記した行動規範を発行しています。この文書では、サプライヤに求められる労働安全衛生（OHS）要件について説明します。サプライチェーンの OHS パフォーマンスは、サプライヤの監査と査定を通じて評価されます。

エリクソンの行動規範およびサプライヤの OHS 要件は、以下のサイトをご覧ください。：

<http://www.ericsson.com/responsible-sourcing>

2 サプライヤ用労働安全衛生基準

エリクソンでは、サプライヤの OHS 管理システムに以下の最小基準を設けています：

OHS ポリシー： サプライヤは、OHS ポリシーを作成する。ポリシーは、サプライヤの OHS リスクの性質と規模に即し、怪我と病気の防止、および継続的改善への努力を約束するものとする。

リスク評価： サプライヤは、その OHS リスクを特定および文書化し、それにかかわる管理方法を決定する。

改善プログラム： サプライヤは、目標と実行計画を含む OHS 改善プログラムを用意する。

法律： サプライヤは該当する OHS 法令および規則を遵守する。



現地の OHS 法令または規制が、本書に記載されているエリクソンのグローバル OHS 基準およびサプライヤー要件と矛盾する場合、最も厳しいものが適用されるものとします（ただし、該当する必須 OHS 法令または規制で認められていない範囲を除きます）。

資格: サプライヤーは、全従業員が指定された作業を行う資格を持ち、適切な教育と訓練を受け、適切な経験を有するようにする。

報告と調査: サプライヤーは、是正措置のプロセスを含む適切な事故報告及び調査手順を用意する。

3 エリクソンの OHS 基準

サプライヤーの OHS 管理システムは、当該箇所で以下に示すエリクソングループの OHS 業務基準を満たすか、またはそれを超えることを最小要件とします。:

- 化学物質の取り扱い;
- 登攀と高所作業;
- 閉鎖空間への立ち入り
- 建設現場と土木工事の管理;
- 運転者と車両の安全;
- 環境騒音と業務騒音;
- 無線周波電磁界への曝露;
- 防火;
- 単独作業;
- 人手による取扱い;
- 個人防護具 (PPE) 、および
- 電気を使用する作業。

サプライヤーは、合意した範囲の作業開始に先立ち、該当するエリクソンのサプライヤー用 OHS 基準を特定します。

エリクソンの OHS 基準は、エリクソンよりいつでも変更される場合があります。エリクソンの OHS 基準の改定は、エリクソンとの書面による別段の合意がない限り、公開日より適用されます。サプライヤーが該当範囲の作業の実行能力に重大な影響を与えるエリクソンの OHS 基準の変更を特定した場合には、



エリクソンとサプライヤは合理的な行為による話し合いの上で、その変更を粉う方法、意味、及びスケジュールについて合意します。

4 **エリクソンの特定 OHS 基準**

特定労働安全衛生(OHS)基準は、建設作業のサプライヤ、現場保守およびネットワーク展開サービス、及び契約により本文書に拘束されるその他すべてのサプライヤに強制的に適用されます。この基準は、その他すべてのサプライヤに推奨されます。

5 **情報の変更**

B 改訂からの変更点:

- 法制化のための文言の書き換え(2)